

教会の援助協力

2012 年 11 月号

発行:

日本福音同盟援助協力委員会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1OCCビル TEL:03-3295-1765 FAX:03-3295-1933
e-mail:adminoffice@jeanet.org http://www.jeanet.org/ 郵便振替:00190-5-7790

東日本大震災から 1 年 8 か月



中台 孝雄

(JEA 震災対策室長/
援助協力委員会委員長)

2011 年 3 月 11 日(金)に起きた東日本大震災への被災地域・被災者・被災教会への支援活動に関して、JEA は従来の援助協力委員会をベースに、理事会のもとに東日本大震災対策室を設けて、活動を継続しています。

その活動については、今年 6 月の JEA の総会で報告しました。本来、年次総会は前年度 (4 月～翌年 3 月) 1 年間の報告が基本ですが、今回の東日本大震災支援はすでに 3 年度にまたがっていますので、支援の全体像を把握していただくために、正規の前年度報告とは別に、地震発生から総会時までの 3 年度分をまとめた報告も (今年度 4 月～6 月までの報告は暫定的なものです) しました。

支援金として寄せられた献金の総額は以下のようになります (6 月 1 日現在)。

2011 年	65 件	6,943,420 円
2011 年度	401 件	85,689,585 円
2012 年 4～6 月 1 日	19 件	594,311 円
収入総合計	485 件	93,227,316 円

各種支援金として用いたものは以下のようになります。

支援金	2011 年 3 月	2,000,000 円
	2011 年度	42,349,268 円
	2012 年 4～6 月 1 日	3,200,000 円

支援金総合計 47,549,268 円

その他、支出 (細目は、昨年と今年の総会資料に掲載してあります。)

2011 年 3 月 451,030 円

2011 年度 12,256,410 円

2012 年 4 月以降は、現段階で活動中です。

支援金のうち 2011 年 3 月の支出 200 万円は、CRASH JAPAN の初動のために支援したものです。

2011 年度の支援金総額 42,349,268 円の内訳は以下のようです。

- 被災地支援の各教会ネットワークへの支援・お見舞金 (初期の被災地訪問費、および初期の個教会お見舞金も含む。) 5,039,268 円
 - 被災教会への第 1 次支援 (お見舞金)
 - 110 教会・牧師家庭 14,300,000 円
 - 被災教会への第 2 次支援 (一般会計の落ち込みへの補助) 6 教会×7 か月 3,010,000 円
 - 被災教会への第 3 次支援 (会堂修復・再建補助を 3 段階に分けて支援) 20,000,000 円
 - 小切手を作成してお届け (18 教会)
- 前年度から今年度への繰越金は 35,576,297 円です。(2012 年 3 月末の数字です。2012 年度の収入・支出は含まれていません。)



(8 月にお訪ねした教会、手前 2 棟が全壊となり取り壊されている。)

この繰越金の今年度以降の用途は、総会時に説明しましたが、まずこれまでの支援を続けています。被災教会を支援するための第 2 次 (一般会計の落ち込みへの支援)・第 3 次 (会堂再建・修復への支

援)も引き続き取り組んでいます。現在も諸教会から情報をいただき、折々にお届けのための訪問や送金を繰り返しています。

各地の教会ネットワークへの支援も継続しています。東北ヘルプに対しては引き続き教会支援の部門(姉妹教会プロジェクト等)を支援しています。その他の地域の教会ネットワークにも折々に訪問し、必要をお聞きし、協力しています。

福島を中心とした子どもたちの保養プロジェクト(子どもキャンプの企画・招待)や東北の青少年のバイブルキャンプ参加のためにも新たに支援を開始しました。特に福島の子どものためのプロジェクトは必要性の高いもので、継続的に協力・支援を続ける予定です。

各地で開催されるセミナー等も、被災地域の方々に招待する企画をしていただいた場合に支援をしています(6月に福島で開催された「心のオアシストリート」、9月の「第1回日本青年伝道会議」、10月の「宣教フォーラム」など)。別途報告されていますが、青年伝道会議では、被災地でボランティア活動を続ける青年たちが一堂に会して経験を分かち合い、祈り合う時を持つこともできました。

さらに、次に予想される災害(あるいは東日本大震災の巨大余震)に備えて、相互に関連する「災害対応チャプレン・プログラム」と「首都圏災害対応プロジェクト」の2つのプロジェクトを諸団体と協力して立ち上げました。

これらのプロジェクトは、別途報告されていますが、キリスト教会のより広い協力のためにJEAも加わって震災後に立ち上げた「東日本大震災救援キリスト者連絡会(DRCnet)」との協力、クラッシュ・ジャパンへの人事派遣、さらには米国ホイートン大学、ワールド・リリーフ、救世軍等々との協力のもとで作業が進められています。

今後の予定としては、震災対策室として来年3月まで取り組みを継続し、(状況の進展を慎重に判断しなければなりません)、来年4月以降、本来の援助協力委員会としてこの大震災のための支援を継続し、あるいは整理していく予定です。

引き続き、お祈りくださり、ご支援ください。何よりも震災対策室が被災地域と諸教会、そして人々によくお仕えしていくことができるように、お支えください。

1、フィリピン水害被害の救援活動への支援。

この夏、フィリピン、マニラ地区に大規模な水害が発生しました。フィリピン福音同盟の救済機関であるフィルラズ(JEA 援助協力委員会とは長い交流があります)がこの水害の救済活動に取り組んでいますので、援助協力基金から1,500USドルを送金しました。このための指定献金を受け付けています。

2、仙台、「南三陸を支えるキリスト者ネットワーク」によるセミナー 10月1日(月)

テーマ「クリスチャンに出来る事と一致の力」

講師は台湾からお招きした中華基督救援協会秘書長の夏忠堅先生でした。

中華基督救援協会には、12年前、台湾台中大震災の折にJEAから当時の稲垣博史総主事と中台孝雄援助協力委員とが訪問して支援金をお届けし、夏先生にお話をうかがい、支援拠点となっていた16拠点のうちの数拠点を視察しました。

その時は、大震災から半年あまりの時期で、「3年計画のプロジェクトとして救済活動に取り組んでいます」とのことでしたが、今回、その活動の12年後の状況を知ることができました。

地震から3年経って、いったん働きを終えようとしたけれども、主の導きと諸教会・諸団体の期待と支援を受けて継続し、この12年間で、16拠点から882拠点へと広がり、それぞれの地元の882協会と協力して、地震被害だけではない日常的な社会的責任に取り組んでいる、とのことでした。

地震の救済活動から始まった緊急の取り組みが、年月をかけて定着したキリスト教会の地域への奉仕活動へと前進拡大している様子、そしてその神学的な基盤をうかがうことができました。日本の教会にとっての一つの模範となると感じさせられました。



「第1回日本青年伝道会議」9月17日～19日

オリンピック記念青少年総合センター

東北の被災地で支援活動をしているボランティア団体より青年のスタッフ8名を招待いたしました。現地での課題や重荷を共有するとともに、彼らにとってもよいケアの時でした。「壁がありクーラーのある部屋でゆっくり休めました。」との感想が印象的でした。東北の地に留まり支援活動が続ける青年の為に続けてお祈りください。



(分科会に参加し働きを分かち合う青年たち)

災害対応プロジェクト紹介

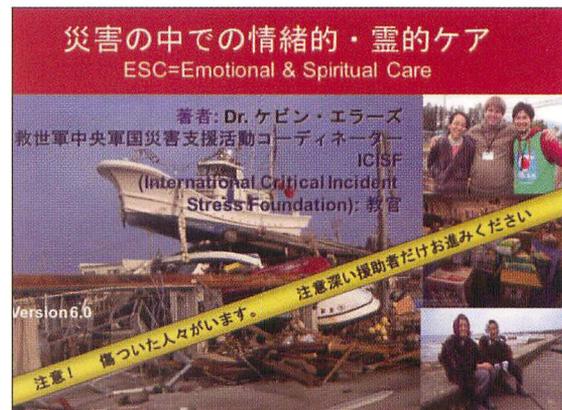
JEA 援助協力委員会は、2012年度 JEA 事業計画「次の大災害に備える取り組み」の一環として災害対応支援プロジェクトを推進しています。これは JEA 援助協力委員会と長年の協力関係にある米国ワールド・リリーフの資金援助によって、米国内のハリケーン被害やハイチ大地震などで教会の災害対応を支援してきたホィートン大学人道的災害支援研究所(略称 HDI=Humanitarian Disaster Institute)との共同プロジェクトとして進められているものです。



(講義をするケビン・エラズ博士 OCCにて)

1995年の阪神淡路大震災の後にも、援助協力委員会による次期災害準備の取り組みがあり、その結果として、東海福音フェローシップの地震委員会や、相模原教会ネットワークの災害対応プロジェクトなどが生み出されてきていますが、今回の東日本大震災の経験を経て、さらにその必要性が高まっていると認識しています。特に、首都圏直下大地震、南海トラフ巨大地震などが予測される中、日本のすべての教会が、災害時に主イエスの愛を地域に現す拠点となれるように準備をすることが急務だと感じています。

具体的には、DRC ネット(東日本大震災救援キリスト者連絡会)、日本救世軍、クラッシュ・ジャパンなどと協力して、①災害対応ができる人材(チャプレン)を養成するための災害対応チャプレン・プログラム(9.11同時多発テロの被害者カウンセリングなどの実績をもつ米国救世軍のケビン・エラズ師の情緒的・霊的ケアのプログラム)日本版の立ち上げと、②それが有効に機能するために必要な枠組み(地域教会の災害対応ネットワーク)作りを支援するツール(ホィートン大学 HDI との協力によるソーシャルネットワークサービスや教会の情報集約システム等)の開発を進めています。



今後の予定としては、地域教会の災害対応支援とチャプレン・プログラムの日本版にフォーカスした「災害対応チャプレン・プログラム第2回フォーラム」を2012年11月19日(月)～20日(火)、OCCにて開催し、来年2月5日(火)～7日(木)に「災害対応チャプレン・プログラム日本版・第1回公式トレーニング」を実施する計画です。(※JEA ニュース#42では2月4日～6日としていましたが、その後、エラズ師の来日日程の都合で2月5日～7日に日程が変更になりました。)

各教団・教会の災害対応担当者、支援団体の方々などにも加わっていただき、災害対応プロジェクトを通して、日本の諸教会、諸団体の宣教・教会協力が前進していくことを願っています。

収		科目	金額	支		科目	金額	
入		東日本大震災義援金	85,689,585	出		支援金	42,949,268	
		世界の自然災害への救援金(常設)	26,500				振替手数料/繰入金	4,310,844
		援助協力基金(常設)・雑収入	4,482,047				災害時諸経費/事務所費/通信費	8,890,379
		前年度繰越金	9,667,957				支出合計	56,150,491
				合	収入合計	99,866,089		
				計	支出合計	56,150,491		
		収入合計	99,866,089		次年度繰越金	43,715,598		

《献金者リスト》 (敬称略・順不同) 2011年4月1日～2012年3月31日

●援助協力基金(常設)

新井聖書教会、インマヌエル中目黒キリスト教会、清瀬バプテスト教会、小金井教会、横浜緑園キリスト教会

●世界自然災害への救援金

小金井教会

◆ニュージーランド地震

京都めぐみ教会

●東日本大震災義援献金

イムマヌエル総合伝道団、ウエスレアン・ホーリネス教団、青梅東宣教協力、風間会計事務所、韓国 CCK、韓国福音同盟 KEF、教団日本伝道隊、キリスト伝道隊、近畿福音放送伝道協力会、クリーンビル、国際基督教団、シオン・キリスト教団、シオン・キリスト教団青年委員会、聖書同盟・CSK、世界福音伝道会、チャーチ・オブ・ゴッド、東京福音センター、日本アドベント・キリスト教団、日本アールビーシーミニストリーズ、日本イエス・キリスト教団、日本FEBEC、日本神の教会連盟、日本キリスト合同、日本聖約キリスト教団、日本宣教会、日本長老教会、日本伝道福音教団、日本バプテスト教会連合、日本フリーメソジスト教団、日本メノナイトブレザレン教団、ブラジル日系、フェローシップ・ディコンリー福音教団、福音伝道教団、北京インターナショナル・クリスチャン・フェロシップ(BICF)、Escola Josephine de Melloe, Victory、イマヌエル經由ジャカルタタマンバンダラ、NORTH FRESNO CHURCH、HALLELUJAH COMMUNITY CHURCH、WEA(ステラ大使)、合川聖書キリスト教会、秋田恵みキリスト教会、浅草橋教会、愛聖チャペル、麻溝台キリスト教会、足尾キリスト教会、芦屋川教会、あすか野キリスト教会、石岡キリスト教会、石岡シオン教会、泉キリスト教会、和泉中央キリスト教会、伊勢崎キリスト教会、伊勢バプテスト教会、一宮教会、岩井キリスト教会、インマヌエル秋田キリスト教会、インマヌエル安食キリスト教会、インマヌエル板橋キリスト教会、インマヌエル市川教会、インマヌエル加古川キリスト教会、インマヌエル金沢泉教会、インマヌエル京都伏見キリスト教会、インマヌエル呉キリスト教会、インマヌエル静岡教会、インマヌエル鳥取教会、インマヌエル中目黒キリスト教会、インマヌエル船橋キリスト教会、インマヌエル松江キリスト教会、イムマヌエル武蔵村山田園キリスト教会、宇治バプテストキリスト教会、浦和キリスト教会、浦和福音自由教会、近江聖書教会、大泉キリスト教会、大磯キリスト教会、大胡キリスト教会、大館ルーテル同胞教会、大野キリスト教会、大曲ルーテル同胞教会、大間々キリスト教会、岡南教会、岡南市民クリスマス実行委員会小川キリスト教会、荻窪栄光教会、桶川福音自由教会、小千谷福音キリスト教会、青梅キリスト教会、加古川キリスト教会、交野バプテスト教会、金沢独立キリスト教会、上板橋キリスト教会、神栖めぐみキリスト教会、上福岡バプテスト教会、鹿沼キリスト教会、春日井栄光キリスト教会、交野バプテスト教会、亀岡恵みチャペル、川口中央福音自由教会、川崎キリスト教会、萱嶋キリスト教会、岸和田聖書教会、岸和田北聖書教会、希望の丘キリスト教会、清瀬バプテスト教会、行田キリスト教会、京都聖書教会、桐生キリスト教会、久遠キリスト教会、久喜キリスト教会、コイノニア福音・伊奈シャロームチャペル・キリスト教会、小金井教会、国分寺バプテスト教会、越谷福音自由教会、境キリスト教会、酒田ルーテル同胞教会、桜ヶ丘キリスト教会、札幌キリスト宣教会、札幌キリスト宣教会美しが丘グリーンチャペル、札幌希望の丘教会、シオンの丘秋田キリスト教会、シオンの群美しが丘グリーンチャペル、シオンの群、シオンの群秋山恵一 シオン・キリスト蒲田教会、志賀キリスト教会、忍ヶ丘キリスト教会、渋川キリスト教会、白根福音教会一教会員、石神井バプテスト教会、シャローム福音教会、主都福音キリスト教会、湘南キリストの愛の教会、白岡キリスト教会、逗市福音教会、巢鴨聖泉キリスト教会、成城キリスト教会、高島チャペル、館林キリスト教会、多磨ニュータウンキリスト教会、茅ヶ崎シオン・キリスト教会、千葉ニュータウン・バプテスト教会、中京聖泉キリスト教会、筑波キリスト教会、鶴岡みどり町キリスト教会、取手教会、東京恵約キリスト教会、所沢聖書教会、豊橋のぞみキリスト教会、屯田キリスト教会、取手教会、中之条キリスト教会、中山キリスト教会、名古屋猪子石キリスト教会、鳴滝キリスト教会、西船橋キリスト教会、日本キリスト合同教会板橋教会、沼田キリスト教会、沼津シオン・キリスト教会、沼津シオン・キリスト教会CS(教会学校)、拝島バプテスト教会、ハイランド・キリスト教会、ハーベスト・クライスト・チャーチ(岐阜アライアンス・キリスト教会)、橋本キリスト教会、蓮根バプテスト教会、八王子中野キリスト教会、浜松バプテスト・キリスト教会、東川口福音自由教会、東灘バプテスト教会、日吉ルーテル同胞教会、平塚福音キリスト教会、基督兄弟団チャペル扶桑、ぶどうの樹キリスト教会、ベネズエラ福音ペンテコステ教会、本庄キリスト教会、松阪コミュニティ・チャーチ、馬橋キリスト教会、御宿教会、みたまキリスト教会、緑バプテスト・キリスト教会、南大沢チャペル、南桜井教会、めぐみの丘チャペル、森の上キリスト教会、盛岡月ヶ丘キリスト教会、屋代教会、大和教会、横浜山手キリスト教会、横浜緑園キリスト教会、洛陽バプテスト教会、渡島福音牧師会、イトウシンジ、イノウエシズエ、大嶋光子、大田和功一、大野功・佳代、大野典子、勝間田充夫、具志堅聖、コジマキョウコ、小森浩、サカイカズトミ、佐藤寿恵、佐味湖幸、青天目俊彰、高木康俊、チョウヨンギ(ヨイド教会)、ツボウチノブハル、ナカタトモユキ、中村敏一、増田里美、宮崎成美、矢部祐三、丸山 告、Mr. SAVEK PAYUHAPAPAN